

SonicWave 432o屋外向け ワイヤレスアクセスポイント

セキュアワイヤレスソリューション

SonicWall SonicWaveシリーズワイヤレスアクセスポイント(AP)では、高性能IEEE 802.11ac Wave 2ワイヤレステクノロジーと柔軟な導入オプションが組み合わされています。セキュリティに優れたこれらのAPは、SonicWall Wireless Network Manager (WNM)を使用したクラウド経由、またはSonicWallの業界最先端の次世代ファイアウォールを介して管理することができます。その結果、ファイアウォールから切り離し、Wi-Fiユーザーに対しても有線接続に匹敵するセキュリティの優れたエクスペリエンスを提供できるソリューションが実現しました。



取り付けオプション。完全なシステム仕様はこちら »

屋外

SonicWave 432o

ハイライト

直感的なクラウド管理

- ・ 統合されたスイッチ管理
- ・ アラートと豊富な解析
- ・ ファームウェアの自動更新
- ・ WiFi Plannerツールの統合
- ・ ファイアウォール管理への簡単なスイッチ

ユーザーエクスペリエンスの強化

- ・ 802.11ac Wave 2
- ・ 自動チャンネル選択
- ・ アプリケーションの制御と可視化
- ・ RFスペクトル分析
- ・ エアタイム(通信時間)の公平性と高速ローミング

クラス最高のワイヤレスセキュリティ

- ・ 3つ目のスキャン専用無線
- ・ WPA3対応
- ・ Capture ATPとコンテンツフィルタリングサービス
- ・ ディープパケットインスペクションテクノロジー

SonicExpressモバイルアプリを活用した ゼロタッチ導入

- ・ 簡単な登録とオンボーディング
- ・ 自動検知および自動プロビジョニング
- ・ iOSとAndroidで利用可能なアプリ

頑丈なアウトドアデザイン

- ・ IP67定格、産業グレードの筐体

小規模な事業や拠点に最適なSonicWall
ソリューションをお選びください:

sonicwall.com/secure-wireless

直感的なクラウド管理

SonicWall WNMは、SonicWall Capture Security Center(CSC)を介してシングルサインオンからすべてのSonicWave APを管理する直感的なユーザーインターフェイスを提供します。さらに、ダッシュボードにはSonicWall Switch管理が統合されており、スイッチとAPを一元的に管理できます。リアルタイムで更新されるアラートと豊富な解析により、ネットワークの監視と管理を簡単に実行でき、最新のファームウェアによる最新機能および機能拡張を常に利用できます。アップデートはAPIに自動的にプッシュされるため、手動アップデートが不要となり、ヒューマンエラーのリスクが排除されます。

ユーザーエクスペリエンスの強化

SonicWave APは、802.11ac Wave 2の機能と高度なRF機能を活用することで、高速なワイヤレス性能を発揮します。MU-MIMOテクノロジーにより、APIは複数のクライアントデバイスと同時に通信できるため、ネットワーク全体の性能、効率性、ユーザーエクスペリエンスが向上します。併せて、SonicWave 4320 APでサポートされるメッシュテクノロジーにより、インストールと導入も簡単に実行できます。メッシュネットワークはセットアップが容易で拡張にも手間がかからず、実装時のケーブル数や人手が少なくすむため、設置コストを抑えられます。

複数の送受信アンテナを搭載したSonicWave APは、ワイヤレスデバイスの信号品質、範囲、信頼性を最適化するように設計されています。SonicWave APは、高速ローミングをサポートしており、ユーザーの場所移動にもシームレスに対応します。エアタイム(通信時間)の公平性、バンドステアリング、監視およびトラブルシューティング用の信号解析ツールなど、豊富な機能を取り揃えています。

クラス最高のワイヤレスセキュリティ

SonicWallのファイアウォールはディープパケットインスペクション(DPI)テクノロジーによってネットワークを出入りするすべてのワイヤレストラフィックをスキャンし、マルウェアや侵入などの有害な脅威があれば、SSL/TLSで暗号化され

た接続を介したものであっても、それらを除去します。コンテンツフィルタリング、アプリケーション制御とインテリジェンス、Capture Advanced Threat Protection(ATP)などのセキュリティおよび制御機能により、追加の防御層を提供します。

Capture ATPは、数々の賞を獲得したマルチエンジンのサンドボックスサービスであり、当社特許出願中のReal-Time Deep Memory Inspection(RTDMI™)テクノロジーが搭載されています。Capture ATPのRTDMIエンジンは、メモリ内部を直接検査し、マスマーケット、ゼロデイの脅威、未知のマルウェアを先取りして検知してブロックします。SonicWall RTDMIテクノロジーは、リアルタイムアーキテクチャによる高い精度で、誤検出を最小限に抑え、マルウェアの武器を検出できる時間が100ナノ秒にも満たない高度な攻撃を特定して軽減します。

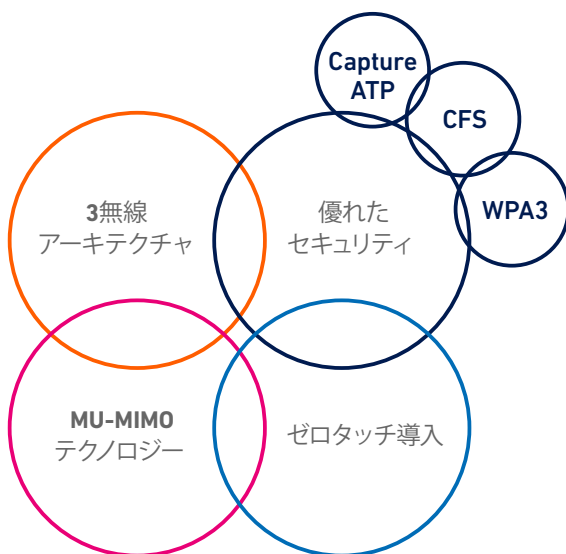
ファイアウォールが導入されていない場合でもSonicWave APを独立して管理

SonicWave 4320 APには、3つの無線が搭載されています。3つ目の無線はセキュリティ専用であり、そこで不正APの検知、パッシブスキャン、パケットキャプチャが実行されます。また、SonicWaveソリューションには、ワイヤレス侵入検知と防止、仮想APのセグメント化、ワイヤレスゲストサービス、RFモニタリング、ワイヤレスパケットキャプチャなど、セキュリティ関連の追加機能も統合されています。

シンプルなファイアウォールの管理

APの導入とセットアップが大幅に簡素化され、総所有コストが削減されます。オプションで、SonicWave APをSonicWall次世代ファイアウォールで管理することもできます。すべてのSonicWallファイアウォールに統合されているワイヤレスコントローラが、ネットワーク全体のSonicWave APを自動的に検知し、自動的にプロビジョニングします。

ワイヤレスおよびセキュリティの管理と監視はファイアウォールで一元的に処理されるため、ネットワーク管理者に対してシングルサインオンが提供され、ネットワークのあらゆる側面をそこから管理することができます。



SonicExpressアプリを活用したゼロタッチ導入(ZTD)

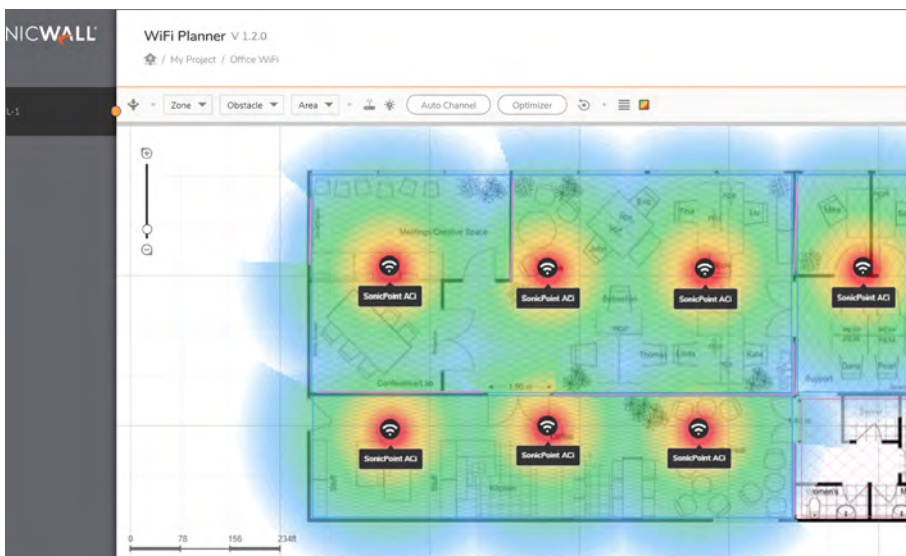
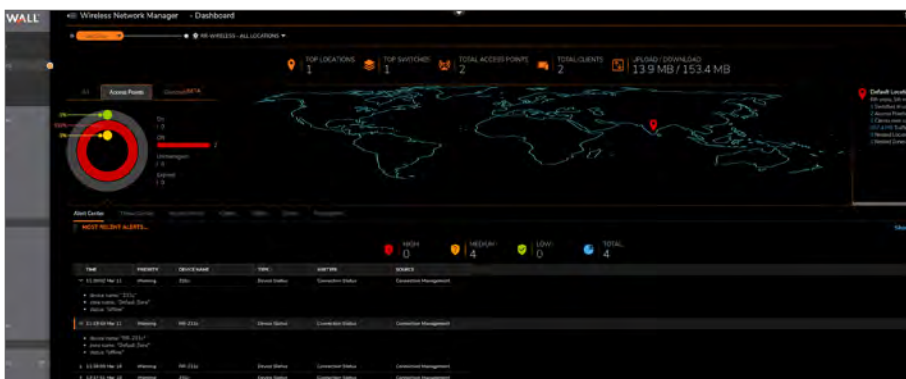
SonicWall SonicExpressモバイルアプリを利用して、SonicWave APの登録とオンボーディングを簡単に実行できます。APはゼロタッチ導入により自動的に検知され、プロビジョニングされます。iOSとAndroidで利用可能なSonicExpressモバイルアプリにより、ネットワーク管理者がネットワークを監視し管理することができます。

WiFi Plannerによる設計

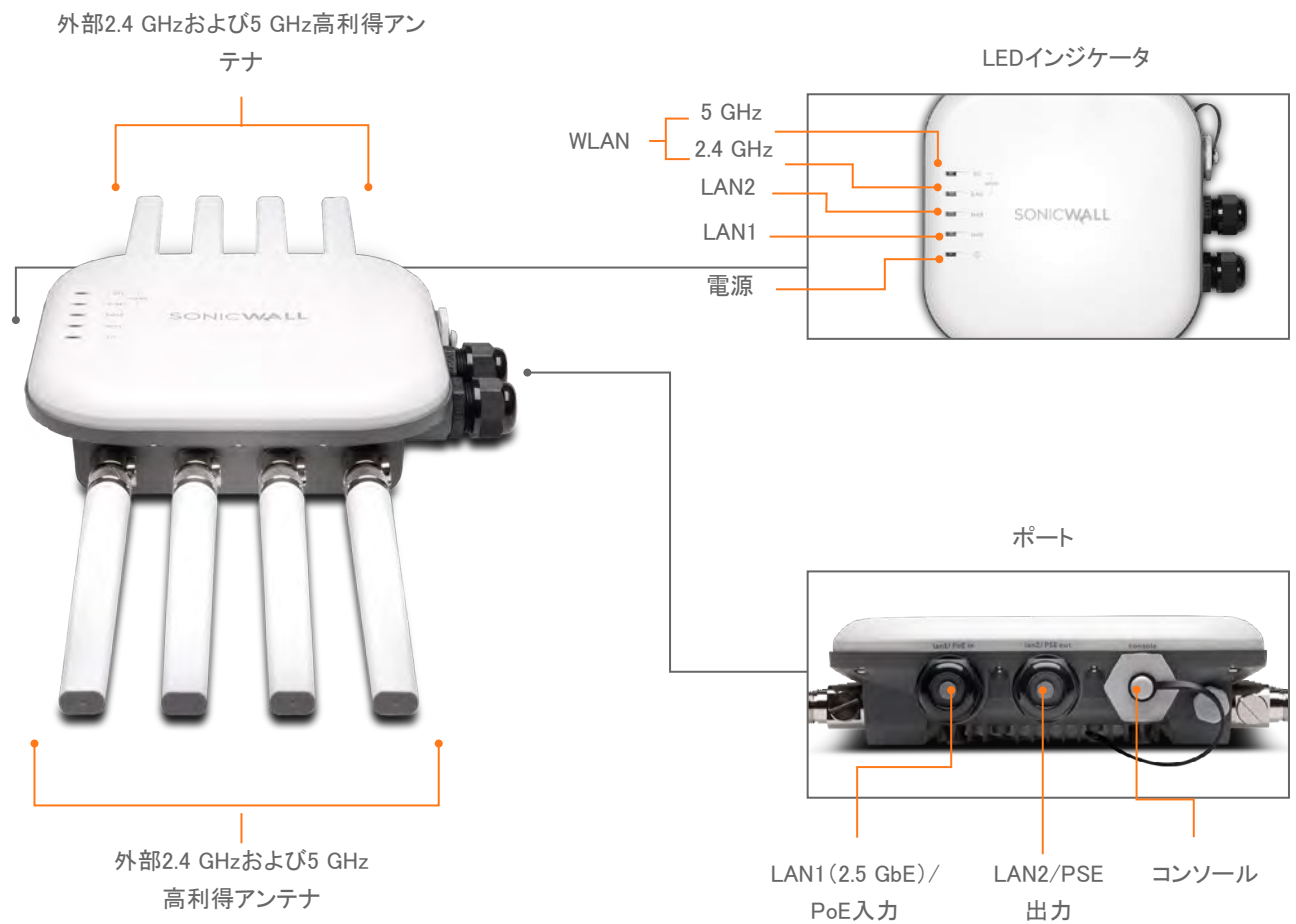
SonicWall WiFi Plannerは、直感的で使いやすい高度なワイヤレス現場調査ツールで、ワイヤレスユーザーエクスペリエンスを向上させるためのワイヤレスネットワークを最適に設計および実装できます。

頑丈なアウトドアデザイン

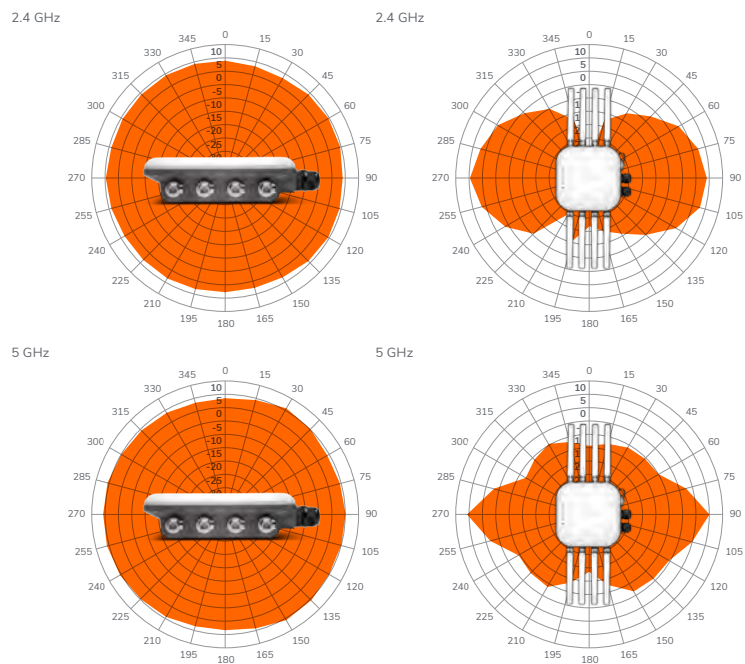
SonicWaveの屋外用APは、産業グレードの筐体を備え、屋外の厳しい条件にも耐えられるよう設計されています。これらのAPはIP67定格である、ほこりや水の侵入に対する保護が保証されています。



SonicWave 432o - 屋外向けAP



RF対応範囲マップ



SonicWave 400 Series仕様

ハードウェアの仕様	SONICWAVE 432o
場所	屋外
寸法	9.5 (W) × 9.3 (D) × 2.4 (H) インチ 24.1 (W) × 23.6 (D) × 6.1 (H) cm
重量	2.2 kg / 4.9 lbs
WEED重量	4.1 kg / 9.1 lbs
出荷時の重量	4.7 kg / 10.4 lbs
PoEインジェクタ	802.3at
最大消費電力(W)	21.2W
ステータスインジケータ	LED 6個(WLAN/リンク)(LAN/リンク)電源、テスト
アンテナ	8 Nタイプ双極子
有線ネットワークポート	(1) イーサネットおよびパワーオーバーイーサネット (PoE) 用10/100/1000自動センシングRJ-45、(1) イーサネット用100/1000/2.5 GbE自動センシングRJ-45、(1) RJ-45コンソール
5G/4G/LTE USBモデム対応	あり
付属アクセサリ	極マウントキット
仮想アクセスポイント/SSIDグループ	アクセスポイント1個につき8個まで
筐体	UL 1024プレナム定格
USB WANカードセキュリティランプ	なし

規格およびコンプライアンス	SONICWAVE 432o
IEEE規格	802.11ac Wave 2、802.11ac、802.11n、802.11g、802.11b、802.11a、802.11e、802.11i、802.11r、802.11k、802.11v、802.11w
コンプライアンス	IEEE 802.11a、IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、IEEE 802.11n、IEEE 802.11ac、IEEE 802.11e、IEEE 802.11i、IEEE 802.3at、IEEE 802.3bz、WPA、TKIP、AES、IEEE 802.11r、IEEE 802.11k、IEEE 802.11v、IEEE 802.11w
Wi-Fi Alliance認証ID	WFA74189
規制	FCC/ICES Class B、CE、RCM/ACMA、VCCIクラスB、TELEC、BSMI、NCC、MSIP、ANATEL、関税同盟、RoHS(ヨーロッパ/中国)、WEEE
安全承認	UL E211396、UL 62368-1、UL 60950-1 cUL CAN/CSA C22.2 No. 62368-1-14、CAN/CSA C22.2 No. 62368-1-14、EN 60950-1またはEN 62368-1、IEC 60950-1、IEC 62368-1、ヨーロッパ:EN 60950-1、EN 62368-1、台湾:CNS 1336-1
無線承認	米国:FCCパート15C、15E、カナダ:ISED RSS-247、ヨーロッパ:(RED) EN 300 328、EN 301 893、オーストラリア/ニュージーランド:AS/NZs 4268、台湾:NCC LP002、日本、韓国、中国、インド、ブラジルの追加の国内承認
EMI承認	米国:FCC P15B、カナダ:ICES-003、ヨーロッパ:EN 301 489-1、-17、EN 55032、EN 55024、オーストラリア/ニュージーランド:CISPR 32、日本:VCCI、台湾:CNS 13438
暴露承認	米国:FCCパート2、カナダ:RSS-102、ヨーロッパ:EN 50385、オーストラリア/ニュージーランド:ASNZS 2772
MIMO	MU-MIMO 4x4(4ストリーム)
無線1つあたりの最大/推奨クライアント接続数	128/48
安全規格	UL、cUL、TUV/GS、CB、CE、BSMI、メキシコCoC、関税同盟
USB WANフェイルオーバーおよびロードバランシング	なし

環境規格	SONICWAVE 432o
温度範囲	-40~140° F、-40~60° C
湿度	10~95%(結露無きこと)

無線の仕様	SONICWAVE 432o
無線	デュアル:4x4 11n + 4x4 11ac MU-MIMO、3つ目のスキャン専用無線、Bluetooth Low Energy無線

無線の仕様	SONICWAVE 432o
周波数帯	802.11a: 5.180-5.825 GHz, 802.11b/g: 2.412-2.472 GHz, 802.11n: 2.412-2.472 GHz, 5.180-5.825 GHz, 802.11ac: 2.412-2.472 GHz, 5.180-5.825 GHz
動作するチャネル	802.11a: 米国およびカナダ12、ヨーロッパ11、日本4、シンガポール4、台湾4、802.11b/g: 米国およびカナダ1~11、ヨーロッパ1~13、日本1~14(14-802.11bのみ)、802.11n(2.4 GHz): 米国およびカナダ1~11、ヨーロッパ1~13、日本1~13、802.11n(5 GHz): 米国およびカナダ36~48/149~165、ヨーロッパ36~48、日本36~48、スペイン36~48/52~64、802.11ac: 米国およびカナダ36~48/149~165、ヨーロッパ36~48、日本36~48、スペイン36~48/52~64
送信出力電力	システム管理者が指定した規制区分に基づく
送信電力制御	あり
サポート対象データレート	802.11a: 6、9、12、18、24、36、48、54 Mbps/チャネル、802.11b: 1、2、5.5、11 Mbps/チャネル、802.11g: 6、9、12、18、24、36、48、54 Mbps/チャネル、802.11n: 7.2、14.4、21.7、28.9、43.3、57.8、65、72.2、15、30、45、60、90、120、135、150 Mbps/チャネル、802.11ac: 7.2、14.4、21.7、28.9、43.3、57.8、65、72.2、86.7、96.3、15、30、45、60、90、120、135、150、180、200、32.5、65、97.5、130、195、260、292.5、325、390、433.3、65、130、195、260、390、520、585、650、780、866.7、1040、1170、1300、1560、1733.4 Mbps/チャネル
対応変調方式	802.11a: 直交周波数分割多重方式 (OFDM)、802.11b: 直接スペクトラム拡散方式 (DSSS)、802.11g: 直交周波数分割多重方式 (OFDM)/直接スペクトラム拡散方式 (DSSS)、802.11n: 直交周波数分割多重方式 (OFDM)、802.11ac: 直交周波数分割多重方式 (OFDM)

セキュリティ	SONICWAVE 432o
データ暗号化	WPA3、WPA2、IPSec、802.11i、WPA、64/128/152ビットWEP、TKIP、AES、SSL VPN**
SSL-VPNクライアント*	NetExtender、接続トンネル
高度なセキュリティサービス	Capture ATP、CFS、Geo-IP、ボットネット、アンチウイルス(クラウド)

認証	SONICWAVE 432o
認証	RADIUS、Active Directory、シングルサインオン(SSO)、ローカルユーザー
キャプティブポータル	クリックスルー、外部サーバー、ソーシャルアカウント(Facebook、Google、TwitterおよびLinkedIn)サインオン
キャプティブポータルサインオン	ローカルユーザー、RADIUS、LDAP、OTP、AD

レポート機能	SONICWAVE 432o
アラート	SMS経由での重要なアラート通知

*SonicWaveがSSL-VPNとして機能

**SonicWall Secure Mobile Access Seriesのアプライアンスと併用した場合



優れたユーザーエクスペリエンス

特徴	説明
高速のワイヤレス性能および範囲	SonicWaveのアクセスポイントは、802.11ac Wave 2規格に基づいており、環境条件に応じてより広い範囲で高い性能レベルを維持しながら、最大で2.34GbpsのPHYレートを達成できます。
信号品質の強化	802.11ac規格は5GHz周波数帯で動作しており、同じ空域で競合するワイヤレスデバイスの数が少ないため、信号の干渉を受けにくいという特徴があります。
ワイヤレスの信頼性の強化	帯域幅容量ならびに空間ストリームの増加と、MU-MIMO、および802.11acによる処理の向上が相まって、より信頼性の高いワイヤレスカバレッジが実現しています。
MU-MIMO	MU-MIMO(マルチユーザー、マルチ入力、マルチ出力)テクノロジーでは、アクセスポイントから1つだけではなく、多数のワイヤレスクライアントに同時に送信することができます。
バンドステアリング	バンドステアリングは、デュアルバンドクライアントが比較的混雑していない5GHz周波数帯に自動的に接続し、混雑している2.4GHz周波数帯をレガシークライアント用に残しておくことによってユーザーエクスペリエンスを向上させるものです。
ビームフォーミング	ビームフォーミングは、データ転送を全方向に均等に広げるのではなく、個々のクライアントにワイヤレス信号を集中させることで、ワイヤレスの性能と範囲を向上させるものです。
エアタイム(通信時間)の公平性	エアタイム(通信時間)の公平性は、接続されたクライアント間でエアタイムを均等に配分し、高速のクライアントはより多くのデータを、低速のクライアントは少なめのデータを受信できるようにする機能です。
ワイヤレスメッシュ	ワイヤレスメッシュを利用すると、ケーブルレスで瞬時にWi-Fiの範囲を拡大できます。
FairNetワイヤレス帯域割り当て	FairNetは、単一のユーザーによる偏った帯域消費を防ぐために、それぞれのワイヤレスクライアントにして最小限の帯域を確保するものです。

包括的なワイヤレスセキュリティ

特徴	説明
Reassembly-Free Deep Packet Inspectionテクノロジー	SonicWallの次世代ファイアウォールは、Reassembly-Free Deep Packet Inspection®(RFDPI)テクノロジーを緊密に統合し、有線および無線ネットワークのすべてのインバウンドおよびアウトバウンドトラフィックをスキャンして、侵入、ランサムウェア、スパイウェア、ウイルスなどの脅威がネットワークに入る前に排除します。
Real-Time Deep Memory Inspection(RTDMI)	SonicWallのRTDMIテクノロジーは、悪意のある動作を示さない、暗号化によって武器を潜ませているマルウェアを検出してブロックします。そしてRTDMIのエンジンは、マルウェアがその武器をメモリに「明かす」よう仕向けることにより、マスマーケット攻撃およびゼロデイ攻撃の脅威と未知のマルウェアを先を見越して検知し、ブロックします。
SSL/TLSの解読とインスペクション	SonicWallファイアウォールは、プロキシを用いずにSSL/TLSトラフィックをその場で復号化し、マルウェア、侵入、データ漏洩などを検査します。そして、アプリケーション、URL、コンテンツ制御ポリシーを適用して、SSL/TLS暗号化されたトラフィックに隠された脅威を阻止します。
3つ目のスキャン専用無線	ほとんどのSonicWaveアクセスポイントには、無線スペクトラムで不正なアクセスポイントを継続的にスキャンする専用のものと、PCIコンプライアンスに役立つ追加のセキュリティ機能が含まれています。
ワイヤレス侵入検知と防止	ワイヤレス侵入検知および防止機能は、ワイヤレスネットワークに不正なアクセスポイントがないかスキャンし、管理ファイアウォールが自動的に、そのデバイスへの接続を遮断するなどの対策を講じます。
ワイヤレスゲストサービス	ワイヤレスゲストサービスでは、管理者がゲストユーザーに対してインターネットのみのアクセスを提供できます。このアクセスは内部アクセスとは別個のものであり、アクセスが許可される前にゲストユーザーが仮想アクセスポイントに対して安全に認証される必要があります。
ライトウエイトホットスポットメッセージング	ライトウエイトホットスポットメッセージングにより、ゲストユーザー向けの差別化されたインターネットアクセスというSonicWallワイヤレスゲストサービスモデルが拡張され、認証インターフェイスの幅広いカスタマイズとあらゆる種類の認証スキームが利用できるようになります。
キャプティブポータル	キャプティブポータルでは、インターネットアクセスが許可される前に、必ずユーザーのデバイスにページが表示され、Webブラウザを通じた認証が必須となります。
仮想アクセスポイントのセグメント化	管理者は、同じアクセスポイントに最大8つのSSIDを作成し、それぞれに専用の認証とプライバシー設定を設定することができます。これにより、安全なワイヤレスネットワークトラフィックを論理的にセグメント化し、安全な顧客アクセスが提供されます。
クラウドACL	クラウドACLは、ローカルACLの拡張機能として、クラウド上のRADIUSサーバーから導入され、管理されます。これにより、ローカルACLの拡張性の問題が解消され、企業は特定の要件に基づいて認証アカウントを設定できるようになります。さらに、802.1xをサポートしていないWi-Fi対応機器であっても、MAC認証を実施することもできます。これにより、ワイヤレスネットワークに新たな保護レイヤーを追加できます。
マルチRADIUS認証	マルチRADIUS認証では、複数のRADIUSサーバーをアクティブ/パッシブモードで配置することにより、エンタープライズクラスの冗長性を提供し、高い可用性を実現します。プライマリのRADIUSサーバーに障害が発生した場合、SonicWallの管理ファイアウォールが障害を検知し、セカンダリサーバーに切り替えるため、ワイヤレスデバイスの認証が確実に継続されます。さらに、マルチRADIUS認証は、各仮想アクセスポイントに対応しており、WPA-Enterprise、WPA2-EnterpriseモードまたはWPA2-Auto-Enterpriseモードに設定できます。
きめ細かなセキュリティポリシーの実施	ネットワーク管理者は、すべての無線トラフィックにファイアウォールルールを実装して適用し、有線、無線にかかわらず、ネットワーク上のすべてのホストに対するすべてのワイヤレスクライアント通信を制御することができます。

シンプルな導入と集中管理

特徴	説明
シンプルなセットアップおよび集中管理	SonicWaveアクセスポイントの検知、プロビジョニング、更新は、クラウドによって、あるいはSonicWall次世代ファイアウォールを介して自動的に行われます。また、WLANの管理も、管理ファイアウォールから直接行うことができるため、セットアップの簡素化と継続的な管理の一元化を実現します。
統合されたスイッチ管理	SonicWall Wireless Network Managerは、SonicWave Access PointとSonicWall Switchを総合的に管理し、ネットワークの可視化と管理を一元化します。
WiFi Planner	導入前のアクセスポイント配置を最適化するために、WiFi Plannerは、信号性能に影響を与える障害物や、カバレッジゾーンと非カバレッジゾーンの両方を含め、Wi-Fi環境を包括的に可視化します。
フロアプラン表示	フロアプラン表示は、ユーザーがフロアプランをアップロードまたは作成し、SonicWaveのアクセスポイントを適切に配置することで、必要なワイヤレスカバレッジを確保できるようにするWi-Fiプランニングツールです。
トポロジ表示	トポロジ表示は、トラブルシューティングの補助として、ワイヤレスネットワークアーキテクチャ内のデバイスとその接続方法を自動的にマップするWi-Fiツールです。
プレナム定格	SonicWaveのアクセスポイントは、吊り天井の中や上など、空気のある空間に安全に設置できるよう、プレナム定格に対応しています。
複数の電源オプション	SonicWaveアクセスポイントは、SonicWallパワーオーバーイーサネット(PoE)インジェクタまたはサードパーティのデバイスから給電されるため、コンセントにアクセスしにくい場所でも簡単に導入することができます。
ライト制御	SonicPointは、調光可能なLED(電源を除く)を搭載しており、目立たないワイヤレスカバレッジが必要な環境に最適な製品です。
広範囲の規格およびプロトコルに対応	SonicWaveのアクセスポイントは、802.11 a/b/g/n/ac、WPA2およびWPAなど、幅広い無線規格とセキュリティプロトコルに対応しています。そのため、より高度な暗号化規格に対応していないデバイスに対する企業のこれまでの投資を生かすことができます。

総所有コストの削減

特徴	説明
低い総所有コスト(TCO)	導入の簡素化、ワイヤレスおよびセキュリティの一元管理、ワイヤレスコントローラの別途購入が不要といった特長により、新規または既存のネットワークインフラにワイヤレスを追加導入する際のコストを大幅に抑えることができます。
MiFi Extender	MiFi Extenderを使用すると、SonicWaveのアクセスポイントに3G/4G/LTEモデムを取り付け、プライマリWANとして、あるいは事業継続のためのセカンダリフェイルオーバーWANリンクとして使用することができます。
Bluetooth Low Energy (BLE)	SonicWaveのアクセスポイントは、Bluetooth Low Energy無線を搭載しており、低エネルギーリンクを介して、ヘルスケア、フィットネス、小売店のビーコン、セキュリティ、ホームエンターテインメントなどにISM(工業、科学、医療)アプリケーションを利用することができます。
USBポート	USBポート搭載のアクセスポイントは、3G/4Gのフェイルオーバーに対応しています。ドングルをポートに差し込むと、WiFiネットワークが停止した場合でも、携帯電話接続でネットワークが継続されます。
グリーンアクセスポイント	SonicWaveのアクセスポイントは、クライアントの接続がアクティブでないときに両方の無線をスリープモードにして省エネを実践するグリーンアクセスポイントに対応することで、コスト削減を実現します。クライアントが接続を試みると、アクセスポイントはスリープモードから復帰します。

旧来のSonicPoint APの情報については、[こちらをクリック](#)してください。

規制モデル番号

432o	APL42-0C1
------	-----------





パートナーが提供するサービス

SonicWallソリューションの計画、導入、最適化に関して支援をお求めですか？ SonicWallアドバンスド・サービス・パートナーは、お客様にワールドクラスの専門的なサービスをご提供いたします。詳細はこちら：

www.sonicwall.com/PES

当社のワイヤレスソリューションのお試しはこちらから：

www.sonicwall.com/products/secure-wireless/live-demo

SonicWallについて

SonicWallは、Boundless Cybersecurityを提供することにより、誰もがリモート/モバイルで危険にさらされながら仕事をするという超分散化時代のビジネスの現実に対処します。未知の領域を探求し、リアルタイムの可視性を提供しながら経済の大躍進を実現しているSonicWallは、サイバーセキュリティ業務上の課題を解決して世界中の企業や政府、中小企業をサポートします。詳しくはwww.sonicwall.comをご覧ください。

SonicWall Inc.

1033 McCarthy Boulevard | Milpitas, CA 95035

詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。

www.sonicwall.com

SONICWALL®

© 2022 SonicWall Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

SonicWallは、SonicWall Inc. またはその関連会社の米国および他国における登録商標です。その他すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。本文書の情報は、SonicWall Inc. および/または関連会社の製品に関連して提供されています。本文書またはSonicWall製品の販売に関連しては、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるかにかかわらず、いかなる知的財産のライセンスも許諾するものではありません。本製品の使用許諾契約書の定める契約条件で規定されている場合を除き、SonicWallおよび/またはその関連会社はいかなる責任を負うものではなく、また、製品に関するいかなる明示的、黙示的、もしくは法定上の保証（商品性、特定目的への適合性、非侵害性に関する黙示的な保証を含むが、これに限定されない）についても一切の責任を負わないものとします。SonicWall および/またはその提携会社は、本文書の使用または不使用に起因して発生した、いかなる直接的、間接的、派生的、懲罰的、特殊、または偶発的な損害（利益の損失、営業停止、情報消失を含む）について一切責任を負いません。また、SonicWall および/またはその提携会社がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様とします。SonicWall および/またはその関連会社は、本文書の内容の正確性や完全性に関して、いかなる表明や保証も行わず、また予告なしにいつでも仕様および製品の説明を変更する権利を留保します。SonicWall Inc. および/またはその関連会社は、本文書に記載されている情報の更新について一切責任を負わないものとします。